

こ はんざいしゃ そだ ほうほう
子どもを犯罪者に育てる方法



とうごう じゅん

こどもを犯罪者に育てるのは簡単です。子どもに善悪を厳しく教えればよいのです。え？ 分からないって？

—ご説明しましょう。



あるところに、お母さんと子どもがいます。お母さんは、毎日、子供に善悪を教えています。

ひとごろ わる
人殺しは悪いことなの。
だから、してはいけないの！



ねえ、もし、^{わる}^こ悪い子になったら、
^{かあ}お母さん、^{ぼく}僕のこと^{きら}嫌いになる？



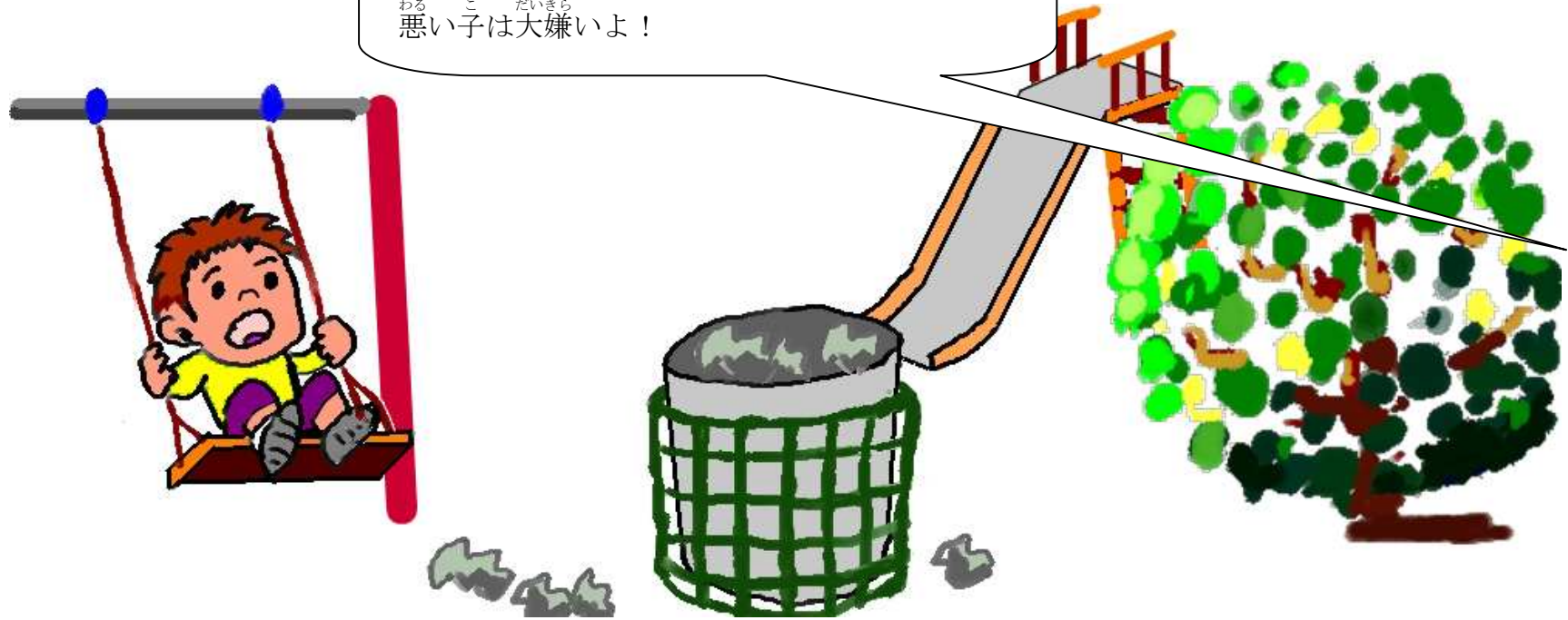
もちろんよ！
^{わる}^こ悪い子なんか、^{だいきら}大嫌いよ！！
だから、^{ひとご}人殺しをしちゃダメよ

^こ子どもは、^{かあ}お母さんに^{きら}嫌われたくありません。^{ひとご}人殺しをしないことに^き決めました。

ある日、お母さんが子どもに厳しく言いました。

公園でゴミを散らかすのは悪いことなのよ！

悪い子は大嫌いよ！



子どもは、お母さんに、嫌われたくありません。公園でゴミを散らかさないことに決めました。

ある日、お母さんが子どもに厳しく言いました。



子どもはお母さんに、嫌われたくありません。タバコを吸わないことに決めました。

さて、この程度では、まだまだ厳しさが足りませんね。一さあ次は、子どもが何か失敗したら厳しく怒鳴りつけましょう。



さらわ
お皿を割ったのね！

わる
悪い子！

一さあ、もうこれで、^{じゅうぶん}十分です。

ああ、^{ぼく}僕は^{わる}悪い^こ子になってしまった！
^{かあ}お母さんは^{わる}悪い^こ子は^{きら}嫌いなんだ！



その子には、もう「悪いこと」をしない理由が一つもありません。ゴミを散らかしたり、タバコをすったり、人殺しをしたりして、立派な犯罪者に育ってくれるでしょう。

もうお母さんに
嫌われちゃった！



俺は、どうせ、悪い子なんだ…

でも・・・、

お皿^{さら}を割^わったら危^{あぶ}ないこと。ゴミ^ちを散^ちらかすと汚^{よご}れること。タバコ^すを吸^すうと病^{びょう}気^きになること。人^{ひと}を殺^{ころ}すと辛^{つら}い思^{おも}いをするこ
と。 そんな風^{ふう}に、「しては^りい^{ゆう}けない理^り由^{ゆう}」を、丁^{てい}寧^{ねい}に教^{おし}えていては、子^こどもを立^り派^{っぱ}な犯^{はん}罪^{ざい}者^{しゃ}には出^で来^きません。

子^こ供^ごを犯^{はん}罪^{ざい}者^{しゃ}に育^そてたいなら、
教^{おし}えるのは、善^{ぜん}悪^{あく}だけにしてください！

あとがき

絵本「子供を犯罪者に育てる方法」は、善悪の錯覚が、いかに少年犯罪の原因となるか、その心理をテーマに執筆したものです。

善悪という言葉／観念は、潜在意識レベルで人々の心に働きかけ、複合的な錯覚を生み、その錯覚は、犯罪、心の葛藤・抑圧、人々の分裂、争い、いじめ、戦争、テロなど様々な悲劇の直接・間接の原因となります。（詳細は弊著「善悪中毒」をご参照ください。）

本絵本は、そうした悲劇を地球上から無くすことを目的に執筆したものです。
もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。
また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2005